

第90号
 (発行所)
 真宗大谷派
 松岡山 廣讚寺
 中村区城屋敷町3-30
 TEL (052) 411-5301
 FAX (052) 411-5341
 携帯 090-1568-4623
 (E-mail)
 matsuoka@kosanji.or.jp

廣讚寺本堂の歴史④最終回

伊藤和美

昭和三十九年、今の本堂は完成した。その年の十一月に入仏落慶法要が行われ、同時に親鸞聖人七百回御遠忌も勤めた。

準備は大変忙しかった。宮殿・須弥壇の新調、仏具のおみがき。玄関の改修、山門、トイレの補修、庭の整理、お華束作りなどを行った。

落慶法要一日目。午前九時から入仏式。笛や太鼓の音に続き、仮本堂から六人の門徒にかつがれた本尊、阿弥陀如来像が新調された須弥壇の上に安置される。そして勤行が勤められる。勤行後、委員長に感謝状が

贈られた。午後は稚児行列があった。

本山の御連枝の御参向もあった。

二日目、この日は人気のある説教師だったので満堂

だ。説教師は小島行信師だった。説教の前に大勢の法

中とお勤め。助音は、午前は女性、午後は男性と分けた。

三日目、説

教師は午前が

荒山公忍師、

午後は加藤一

師であった。

お勤めでは散

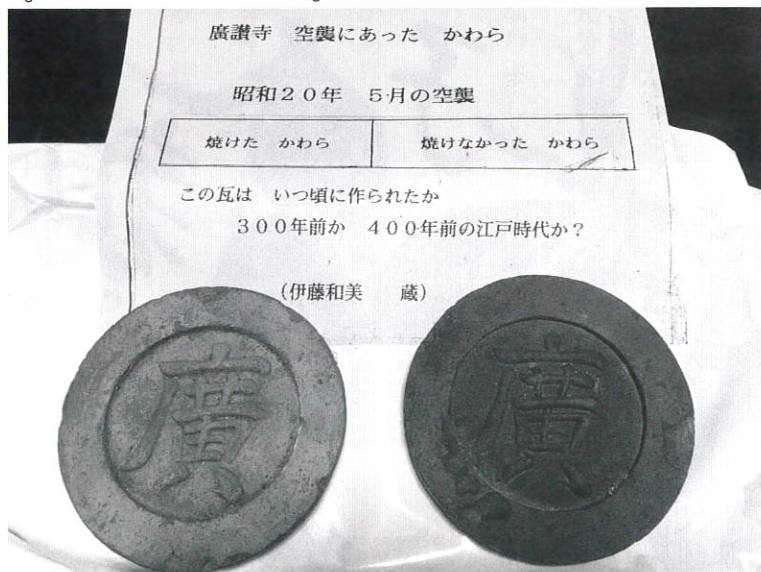
華が行われた。

こうして戦

争で焼失した

本堂は再建さ

れたのである。



現生正定聚

ちよつと面白い比喻をみつけたので紹介します。

A 「住職はいますか？」

B 「住職は今朝から京都の本山に行っていますよ」

住職（まだ米原を通過したところなのですが・・・）

私は京都行の電車の中にいます。頭の中は本山に行った時のこと考えています。時間が過ぎれば必ず本山に到着します。（事故の可能性とかは考えずに）

住職はいますか？と尋ねた人も京都の本山に行つたと聞いて、ああ住職は今、本山にいるのだと思います。その時点では米原通過中なのですが本山に行つたと思ふわけです。

現生正定聚とは、この世において浄土に行くことが

約束されているということ
です。

我々は全員、

浄土行きの電

車に乗ってい

ると言えます。

電車が到着す

ればすぐにお

浄土です。ス

ピードの遅い

電車も、ずい

ぶん長いこと乗っている電車も、よく揺れる電車もや

がてはお浄土に到着します。私はそう信じています。

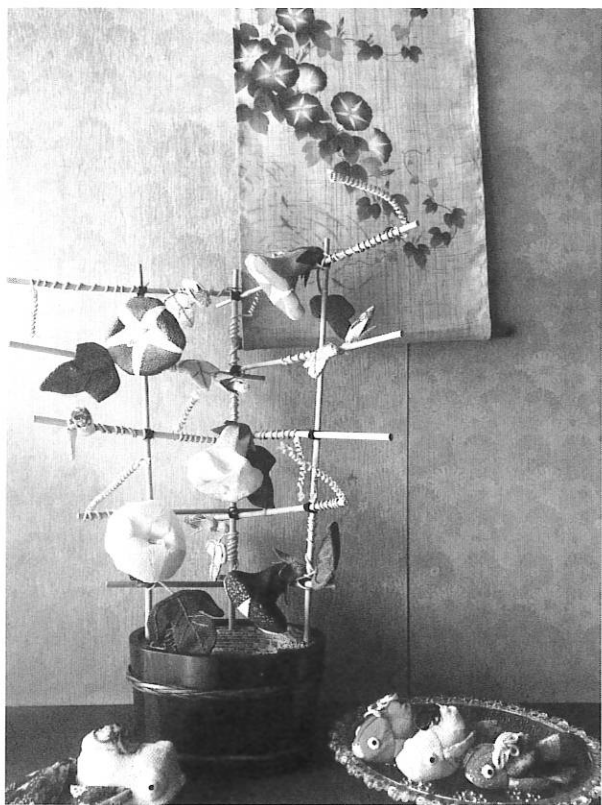


失敗の責任

テニスをしている時にミスショットをすると、ついラケットのせいかと思ってしまう。

車の中でラジオをきいているとそんなことを言っていました。ちよつと笑ってしまった。

私も最近ソフトボールをやっているのですが、ミスが重なるとグローブに原因があるのではないかと思ひ、



このグローブさえピッタリならうまくいくのと思つてしまいます。

打てなければバットのせいと思つてしまいます。自分がヘタなだけなのですが。謙遜しているわけではありません。本当にヘタなだけです。それにもかかわらずグラウンドのせいにしたりします。

目が悪くなったからミスをするのだと思ひ、メガネをかけて視力充分でプレーしてみました。見えすぎて一段とヘタになりました。やはり自分の実力がないのが原因なのです。

こんなことばがあります。

人は転ぶと、まず石のせいにする

石がなければ坂のせいにする

そして坂がなければ履いている靴のせいにする

人はなかなか自分のせいにはしたがらない

行者当まさに知るべし

もし行を学ばんと欲おもわば、必ず有縁うえんの法によれ、
少しき功くろう勞を用いるに多く益やくを得ればなりと

なんでこんな悲しいことがおこるのか。なぜ私だけ
こんなに苦しまなくてはならないのか。いったい自分
の人生なんだったのだろう。もう何もかもわからなく
なった。

そんな時こそ佛法を聴くチャンスです。

行を学ばんと思ひ立つとき、自らの人生をかけて仏
道を求めていく覚悟ができるときです。

やがて、その大きな悲しみや苦しみに手が合わさる
時がくるのでしよう。

九月 十二日(土)

七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十三日(日)

八時 庭そうじ
(昼おとぎ後、解散)

十九日(土)

二時～四時 学習会

二十三日(祝)

十一時 秋季彼岸会
説教 廣瀬純史師
廣讚寺講総会
おかみそり

二十四日(木)

三時 彼岸お勤め

二十五日(金)

三時 住職説教

二十六日(土)

二十八日(月)

十一時 二十八日講総会

十月 十日(土)

七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(月)

二時～四時 学習会

二十八日(水)

十時 二十八日講・女人講